

## 令和3年度3学期始業式 式辞

令和4年1月11日

皆さん、おはようございます。

一昨日、3つの県に「蔓延防止等重点措置」が適用されました。ここ関西も他人事ではない状況です。コロナにうつらない、コロナをうつさない、改めて全員で強い意志を持って、具体的な行動をとりましょう。

さて、去年の12月から神戸高校ホームページに、自治会が作成した「神戸高校プロモーションビデオ」を掲載しています。これをご覧になった僕の前任、中野前校長先生から、こんなメールをいただきました。「品性と心地よい遊び心、素晴らしいですね。思わず『高評価ボタン』を押しました。」というものです。

本当に、このビデオは素晴らしい出来栄です。きらきらと神高性の青春が輝いている中、神高生と神高の品性と品格が感じられます。その輝きを切り取ってまとめ上げた、製作者の品性、感性、センス、そして技術にも感心しました。

そして、もう一つ感じたことがあります。

君たちは秘めた力の塊、可能性の塊なのだ、ということです。君たちはその気になればなんだってできてしまえるんじゃないか、という思いです。

陶芸家の河井寛次郎という人の有名な言葉があります。紹介します。

「過去が咲いている今、未来の蕾で一杯な今」という言葉です。もう一度言います。

「過去が咲いている今、未来の蕾で一杯な今」

今君たちが輝いているのは、今を輝かせる過去があったから。そして、今ある沢山の蕾を大切に育てれば、未来に沢山の花が咲かせられる、という意味だと僕は解釈します。

限りない可能性という蕾を、未来に美しく咲かせるために、今できることに打ち込んで欲しいと思います。

皆さんにとって、充実した素晴らしい年になるようお祈りし、3学期初めの挨拶とします。